

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 一校 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

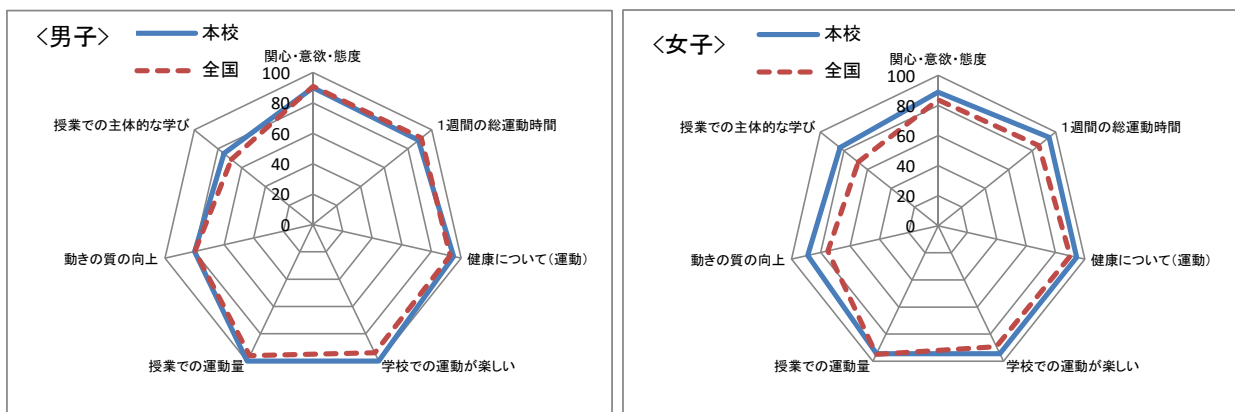
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

体育科の学習では、45分間の学習の中で、25分以上の主運動の時間を位置付け、運動量の確保に努めた。質問紙調査の結果から、ほとんどの項目で全国平均値を上回っていた。男子では、「学校での運動が楽しいか」「体育の授業では、たくさん運動するか」の質問に対して肯定的な回答が100%であった。また、女子では、「体育の授業で自分の動きの質が向上しているか」「体育の授業で体力・運動能力の向上について目標を立てているか(主体的な学び)」の質問に対して肯定的な回答が全国の平均値を大きく上回っていた。今後も体育科学習で運動量を確保し、運動の楽しさを感じることができる取組を促進していきたい。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・体育科学習において、主運動の時間を25分以上確保する。
- ・体育科学習でも、「めあて」「まとめ」「振り返り」の時間を位置付ける。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・持久走記録会やなわとび運動の取組を通して、体力・運動能力、運動習慣の向上を図る。
- ・休み時間は外遊びを奨励する。